

NIPPON PRACTICE 2

Presented by NikuRingo(Beef&Apple) 2008/12/30 In Winter of Comiket



成人向
同人誌



★注意★

この作品中で行われるプレイは
想像により誇張されたものです。

実際に行うと身体に損傷を与える恐れがあります。

★この作品はフィクションです。
物語上行われる行為などを現実に実行する事は
犯罪となる恐れがあります。

☆はじめに☆

どもども兄弟です。

さて今回のオフセット本
「日本PRACTICE2」
ネタは初？のジャンプマンガ
「ワンピース」でゴザイマス。
気付けばもう、10年以上連載が続いてるんですね～

んで本編は、前半が弟の、ナミ&ロビンの連画
後半は兄の、ピビイラスト&テキスト
といった構成になっております。

今回も、ネタに迷ったあげく
「ワンピ」なら良いんじゃない？
ってな流れになったんですが…
当初は、果たして「ワンピ」でエロエロちく
できるかな～？ と、ちょっとした心配も
ありました。

で、結果エロいかどうか、は手に取った方に見て
というか、感じてもらうしかないんですが。

まあ結果的に、自分たちの的にはエロエロツと
いつものテイストで楽しめました。

あとは皆さんのエロライフのお役に立てれば
幸いです。

ほんじゃまたあとがきで☆

カクガリ兄弟
2008/12/30

(入稿終わったら兄弟で『レスキューフォース劇場版』
を見に行く予定☆ が、レスキューが必要なのは
今、入稿前の自分達だったりして……)

グフフッ…
ついに来たかッ!
オレ様の出番がッ!



*今回のキャラクターは登場しません
(ネームノートから抜粋)

長い旅も今日で
しばしお休み…

私…ナミとロビンさんは
この島に停泊中の二隻の
船へと向かった

ホラ見て…
あの船よ

わおっ!
デカイわね

ええ、さすが
海軍様ね

ゲイリー提督率いる海軍第42師団
通称「ボーイスカウト」
提督の趣味から発足したと言われる
18歳〜24歳までの禁欲的色男が
半数以上を占めるアイドル部隊である

私とロビンさんは、この船で行われる
定期健康診断に女医と助手に
成りすまして潜入します…

さあハメを外しに
行きましょうか

かつ…海軍に…!

スっ…スリル
ありますね

そう…ハメを外しに…

うふっ♥診察なんて
色男を見つける手段よ…
気に入った子は…こころな風に
特別診察しちゃうんだから♥



んふっんむっ…ふあ〜っ♥
ホラホラっ…こんなにして〜
欲求の溜まり過ぎよっ

んふっ♥

そっ…そっですか？

アアッ
クワッ
クワッ



んふっ…こんな事で感じるなんて
禁欲生活長すぎじゃない？
それとまたの…変態さんなの
かしら？

ゴリッ

アアッ！
駄目エー！

んふっ…良いのよキントマ
プレスでイッてもっ♥
ほらッイキなきいッ
キントマでイキなきいッ！

クアアッ！

んふっ…どうしたの？
キントマ噛まれるの
そんなに良いのかしらあ？

クアアッ！
ハイッ！

ちゅっ

んふっんちゅっ♥…そっよ
んっんっ♥…たっふさん抜いて
んちゅっんほっ♥オチンポ
スツキリさせてあげるわ♥

アアッ…
ハイッ！

チュルルルッ

アアアア
アアアア
アアッ！

アアッ



フッ…普段の私達からは
想像もつかないエッチな姿でしょ
その正体は極度のザーメン中毒患者
ザーメンフリークなのよっ♥

んふっ…
キントマ汁〜っ
んふっんんっ♥

アアッ
アアッ
アアッ

アアッ出ますっ！
お姉さまっ！

んふっ…んっ♥
濃っ…フツッゴク
濃いわよっ！

んあっあふっ♥
ホラっ…オネーサン
のゴチなお顔にタップリ
溜めた濃厚のザーメン
出してっ♥

アアアア
イクッ！

特別診察は時に
男の子達の好みに合わせて...

んふっ 駄目よ
そんな所に出しちゃっ

タタでまゝえ腋汗で
すくく黄ばんでるのこ
もじり汚れちゃってやない
恥ずかしいわ

あはんっ
君達の精液のノオイで
お姉さんの腋臭
もつとクサクなっちゃっ
んふっ

ホッパツ ヲツツ
オネーサンの蒸れ蒸れの
足のノオイはっ
すくくクサイでしょ

んふっ...クツサイ足のノオイで
チンポキーンに勃起させるなんて
海軍男ってホント変態が多いのね

アアッ...ンフッ
ハイ...最高ですッ

アアアッ

そつッ 良いわよマン男ッ
お姉さんのウンコ穴
しつかり舐めなさい

ほらッ...ウンコ穴からオナラが
出るわよ...しつかりその舌で
味わいなさいッ...のマン男ッ!

あはっ
ウンコ穴舐めて
チンポ立てるなんて
君は恥ずかしい子ね

ンンンッ
ハイッ...

あらあらッ 袒子から
白い汁垂らして...ホント
海軍男は変態そろいな
ッ

ハア

ハア

ハア

ハア

ハア

ハア

ハア

ハア

ハア

ハア

ハア

ハア

ハア

んふっ♥君はパンツ被ったお姉さんに興奮するのね
フツッ…好きだよフツッの♥

ドキ



ホラッ…もっと興奮してえ興奮して濃いザーメンを吹き出すのよッ!

ほら見て パンティの中央の黄ばみ ニーからスッコクエッチなニオイがするのよ♥

ふふ君の汚ったないフリーフオネーチャーして興奮するオネーサンはどうかしらッ

ソクソク

んふっ…んちゅっ…んっ長い海上生活で汚れたこのカヒカヒの部分から濃いザーメンの味がして…わわッ

ハア

ほらッ…出してッ…君の新鮮なザーメンオネーサンに出してッ…



アハッ♥ 君達のクツサイザーメン最高よ♥お姉さん達にもっとフツッケてえ♥

んはっ♥んあっ…んはっ♥禁欲男達の童貞同然濃厚ザーメン♥ネチネチのクツサイザーメン美味しッ♥

ほらッ ザーメン中毒の下品なオネーサン達を見てフツッケのよッ♥

ふあっ…んあっ海軍男の溜めに溜めきった特濃ザーメン最高ッ♥

もっと出してッもっと汚してえみんなの溜まった汚物フツッオネーサン達に吐き出して♥

そっ…

時には私達の好みで
特別診察は行われるのよ
フッフッフ…♥



おっ…おっ…
お願いします



可愛くてそのケのある子を
私達流に染め上げていくのよ

じゃあ早速
はじめますわ

ハイ…お願いします

おっ…スッゴイ汚れてるわ
コレは診察しがいがありそうね…
ふふふ♥

♥ ナミちゃんの男の子チェック ♥
第42師団 通称“ボーイスカウト”
そのポイントと云ったら、やはりカワイイ男の子
だけが着用するピチピチのセーラーよね♪
短い丈から覗くセクシーな腹筋、ムチムチの
ショートパンツ越しにもわかる、存在感のある
オチンチンのか・た・チ…キャ♥
さらに、キュンと立ってるエッチな乳首！
お値段にするなら、100万ベリー相当のプレシャスよ♥



これはかなり重症な
欲求不満患者ね…
すっごくクサイわ

ナミさん…
診察をお願いね

リョーカイツ♥

ほーらボウヤ、
オネーサンが特殊な診察器具を
付けて調べたあげるわね♥

ふふっ…コレを付けた方が
病状をよく嗅ぎ分けれるのよ
ふふっ♥ イタダキマース♥

んふっ…とは言っても
この診察器具はただのお飾り、
私達がフタ面になるとスッコク
興奮するからなんだけどね♥

アアッ…そんなの
付けて調べるんですか？

んおっすっすっ
コレすっごくクサイ
フエーッ♥

アアッ…オネーサン
そんな顔で診られると
なんか…恥ずかしいッ

んふっんふっ…
そんな恥ずかしがらないで…
それともフタ面でクッサイオイ
嗅ぐオネーサンの方が恥ずかしい
って事がしらっ…ッラフッ♥

ああ、それはッ…

ンフフフッ
海男の溜めに溜めた
キンタマ汁のオイがの
カビカビの夢精汚れに
濃縮されて…

んふっ…が…んほっ♥
クッサイ…先生コレはかなり
重症の欲求不満症ですわ





あんツ スッゴイ熱のもった診察ね...私にも嗅かせてえよ

どれどれえっ！ フリンフリン... クサッ！クサイわよッ！ ホントにクサイわッ！ この汚パンツッ！

どれだけ夢精したらこんな濃い匂いに...

あまりのクサさに、フタ鼻が曲がりそつよおほッ...ニのキンタマの中にスッゴイ濃いザーメンが溜まっているのね



ふふ...どうしたの？こんなにバキバキにオチンポ勃起させてお姉さん達にクサイパンツ嗅がれて興奮しちゃったのかしら？

それともフタ鼻おっぴろげでクンクンとクサイ匂いを嗅ぐ下品なおネーサン達に興奮しちゃったのかしらあ？

ハアアアツ



んあつ...

ハッ...ハイッ!

あらあらエッチな子ねフタ鼻お姉さん達で興奮しちゃうなんて...フッフッフツッ



んふふッ♥
プタ鼻美女達に勃起乳首
舐められちゃうのは?

ハア

アアアアアッ
嬉しいです

ほらほら口乳首がトントン
固くなってきてるわよ
ふふふ...トツツして乳首責められるの
大好きなんですよ

アアアッ...アアッ

アアアアアッ!
あらッ? 乳首噛まれた
だけでそんなはしたない声
出しちゃって...マソの素質が
あるんじゃない?

ンツッそんな
噛んじやッ!

ホフホフッ♥

アアアアアッ!

どうしたの?
男の子のくせに内股に
なって...オチンポ
ピンピン跳ねさせてえ

アアアアアッ

ふふッ...マン乳首噛まれて
よがるなんて可愛いわね
ほら、もっと苛めたあげるわ
マン乳首君♥

アアアアアッ
アアアアアッ!

アアアアアッ!

アアアアアッ

アハッ駄目ッ...
そんな...アアッ!

フコッ...フコッ...
ちよつだい...んッ
君のミルク♥

ンヒッ...ンヒッ...
ほらあ...プタ鼻オネーハン達に
マン乳首チユツユされてミルク
出しちゃいなさいよ♥

アアアアアアアッ!
ふああああ...んッ!



んふっんふっん
クサイッ…土ロクッサイわあ
君のケツマンコ…スッコクエッチな
ニオイがするわよ♥

はら…んなトロン
拭き残しの「馳走があるわよ
はあ…んふっ…オイシク

んふっ…どっしたの？
そんなトロンとした表情して
プタ面のお姉さんにケツマンコ
舐められるの…そんな幸せなの？

アアッ…ハイッ
ギン
ギン
ギン



んふっ…プタ面では
こんなふっんに女の子役を
やってみるんじゃないの？

んふっ…プタ面では
こんなふっんに女の子役を
やってみるんじゃないの？

ホラホラッ
感じちゃうんでしょ
メスおっぱいで♪

アアッ…
おっぱい駄目よ
感じてちゃうッ

んふっ…やっぱり女の子なのね♪
メス乳首とケツマンコを責められて
こんな興奮しちゃうなんて…
はしたない女の子ね♥

ホラホラッ…プタ面のお姉さん達に
責められて女の子みたいになんて
可愛いよがり声あげなさいッ♥

フフッ…もっともっとメス乳首と
メスマンコで興奮して濃いザーメン
作り出すのよッ…このメス男ッ！

ハアアッ！
アアッアアッアアッ
アアアアアアアアッ！

アアッ
アアッ
アアッ

んぶっんしゆるッ
んぶっ...キンタマから...チルルルッ
...ザーメンの味が染み出てきてるわよ
マソメス坊や...んチルルルッ

アアアアアアアアアアアア
キンタマ効くッ
すっこい効いちやうッ
アアアアアアアアアアアア

ジュルルッ...んぶっ
このキンタマの中に溜まった
...くっさい...濃縮ザーメン
フタ鼻お姉さん達に飲ませてよッ
フボボボボッ

アアアアアアアアアアアア
アハアハアハアハアハアハアハ
キンタマ取れちゃうッ!

ほらっ...キンタマ噛んで
くっさいザーメン押し出して
あげるわよマソメスちゃん

あはあは...んな事されて
キンタマからくっさいザーメン
出しちゃうのマソメスちゃん

ンアアアアアアアアアアアア
キンタマ噛んしゃ
駄目エ 効くッ効くッ
効き過ぎちゃうッ

ホラホラッ
メス乳首もゴリゴリ
しこいてあげるッ

アアアアアアアアアアアア
オッパイ良いッ
オッパイ気持ちいいッ

アアアアアアアアアアアア
ハイッ...出ちゃうッ
オッパイとキンタマ詰められて
出ちゃうのですッ

フフッ...航海で溜めた特濃キンタマ汁
フタ鼻お姉さん達の目の前で
ぐちまけるのよッ マソメス男ッ!

マソッ
イケツマソメス

アアアアアアアアアアアア

ハアアアアアアアアアアアア





アアアアアッ!

駄目エツ出ちゃうッ
ザーメン出ちゃうッ!
勃起チンポから
ザーメン出ちやいますッ



ああんツ...ぶつかけてえ
フタ鼻オネーサンにクッサイ
ザーメンぶっかけてえッ

おほおッ...フタノ
フタ鼻に...鼻の穴に
直接出してえ

オオッホッホッホッ
来るッ来るッ...雄臭来るッ!
ザーメン鼻洗腸で鼻アクメ来るッ
フタ鼻アクメ来るッ

んおおッ...クサイッ...クッサイ
航海で溜めたメス男のキンタマゼリー
すっごくクッサイッ

ああアクメ来るッ!
ザーメンアクメ来ちゃうッ

フタ面にクッサイザーメン
浴びて...ザーメンアクメ
来ちゃうッ

んほおおッ

ンヒックサイ♥クッサイ♥
クッサイザーメン臭が脳みそ
貫通しちゃうッ
おほッフタ鼻ザーメン最高ッ
フタ鼻アクメ最高♥

おほおおおッ



ふふふッ
可愛い子のザーメンって
最高ですねッ

ふふ...とっても
濃くて素敵だわ

わおッ下品

んんんん



へっ見ろよ
腋汗もタラタラたらし
ったく下品な女だねッ

オオオオオオオオオオオ
腋さわつちやあ
オオオオオオオオオ
エロ汁噴き出るように
塗りこんでやるからな

ソランラツ...下品な
オッパイにもタップリ
塗りこんでやるぜッ

効くッ
コお薬全身に効くッ
全身が勃起しちゃうッ

臭♡

へっ...見ろよッ
このマンコ...色素が沈着して
結構使い込んであるぜッ

クククッ...中身もトロトロで
ハメ心地が良さそうだぜッ
これから俺達がたっぷり
使い込んでやるからなあ

あはああッ



オラツオネーちゃん
どうだ媚薬の威力は
気持ちイイだろッ!

アハッ
そんなコト...
ナイツ...アハッ

コンナに乳首を
ピンピンに勃起
させてるのにか?

オオオオオオ
そんなの...クスリッ
クスリ...のせいよ

へっ...オマンコは正直なもんだぜ
こんなにトロトロにしゃがって

オホ...ッ
見ないで...

ガハハッ...そんなに
オマンコの中...
良かったかあ

うわッ! こいつ
ションベンちひり
やがったぜッ!

オオオオオオ
お薬キクッ
スコイツスコお...



オラツ見ろよ
発情しっぱなしの
あの間抜けッ...

へっ...
塗りだけで何度も
イキやがったからな

ガハハッ...浜風が
吹いただけでイッチ
まいそっじゃねーか

おほおおッ♡

オラオラッ！
お姉ちゃん達ッ！
海軍の底力思い知らせて
やるゼッ！



そらッ第42師団全ッ62名(色男以外)
マンコが擦り切れるまでハメ倒してやるゼッ



ガハハハッ
こいつ等 何てエロ面してやがる
こんなニ廻されてるのは
大興奮じゃないカッ

ソラソラッ...まだまだ
チンポはあるからな
ドンドンお相手してくれよ
ザーメン便器ちゃん共よッ！

...うたくとんだ変態女共だッ
そら飲み込めッ 飲み込めッ
クチもマンコもケツの穴も
全部使ってザーメン飲み込めよッ



ンオオオオオッ
ハッ...ハイッ！



へっっこのネーサン方
ホントすげーな
このペースだと5000発
食い切りちゃうぜ

クククッなに
2000発と叫ぶすに
何度でも出してやるぜ

ハァン...アァン♥
もっ...もっ...
ザーメン喰わせてっ♥

んっ♥
トロ

海軍のオチンポ...オチンポハメで
もっ...もっ...ハメ壊してっ♥

アァアッ オチンポすっ
海軍のチンポハメすっ
もっ...ハメ穴にしてっ♥

ソッラ...お姉さん方
海軍特製の500発
分の濃厚ホワイト
カレシだ
...とはいっても
ザーメン90%
あと10%は
シヨベンだけとな



オラ遠慮せずに
飲み干せッメスヲ共ッ!

ソッラッ 鍋一杯にあるから
ドンドン飲み干せよッ
オメガ等の好物たるッ

ケツの穴からカチカチの
ザーメンウンコが出るほど
たっぷり飲ましてやるぜ
ザーメン 便器共ッ!

わお...海軍って最高ねッ



そして...海軍は私達にエッチな拷問を執拗に繰り返したのよ...ふふふ

グアアアアッ
オマンゴイクッ
またイッチャラッ

ククッどうだ？海軍拷問
ルール巻き責めは
情けのフンドシと繩の娼薬が
程よく苦痛を快楽に
変えてくれるだろう？

駄目エッ見ないでッ...
漏れるッオシッコ漏れちゃうッ
イキながらオシッコ漏らしちゃう

んあああああッ

もっとな速くもっとな強く
オマンゴ擦らしてッ...♡

イクッ...
またイクッ...
オマンゴ擦られて
何回でもイッ
ちゃラッ



オーラ メス隊共
オル打ちで何回イッてやがるッ
まだッ00発も打ってないぞッ

あああッ
駄目エヤダッ
そんな叩いたら
またオシリで...

クククッ テイルドウのせいか
もっとな打って欲しいみた...だッ
ケツ突き出してモノ欲しそう
にしやがって...

ケツで何度でも
イッチまいなッ!

あああッ 駄目エッ
またオシリでイクッ

んあ...もっとな叩いてッ♡
もっとな叩いてイカせて下さいッ
ケツ打ちでケツアカクメ
させようっだ...♡

「ごちのネーチャンは
オル打ちにすっかり
ハマちましたようだな

ゲヘヘッ
コリヤとんでもない
ブタ女だッ



ヨーシ玉込め
準備ヨーシッ!

孕ませ汁ッ
撃てー汁ッ!

アッ!アアッ!
ハアアアアッ!

クウッ!
ウウッ!
ウウッ!

ああッ駄目ッ
子宮内に精液
入ってきてるッ!

オオオオッ
熱いザーメンが
子宮に染み渡るッ

アアッ そんな何百回も
出されたら妊娠しちゃウッ

オオオオッ
子供で来ちゃう!
海軍の子孕んじやウッ!

ンアアアアッ!



ケケケッ オーラ
キチンと飲み干さないと
子供出来ちまうぞッ

オレ達のザーメン
残さず全部飲み込めよッ
メス豚オナーチャン

クククッコイツ等の
トロけたマヌケ面見てみるッ
ザーメン飲みながら
イツてやがるぜッ!

ガハハッこのまま出港するまで
何度でも種付けして何回でも
イカしてやるぞメス豚共ッ!

ンヒイヒイッ
ブヒイヒイッ

ガリッ

ゴリッ

ゴリッ

ヒッ

ヒッ

ヒッ

ヒッ



ガハハハハハッ
 どうだメス豚共ッ！
 コレが海軍名物猪間
 船首ハリツケだッ！

俺達が休んでいる間は
 下品なソノ肉体を港に
 晒し続けるが良いさッ！

ガハハハハハハハッ

ああッ...

ハア

ハア

はあああッ...

ズム

ドボ

クワトロフルール
 エスケープ



タハハッ...
 ロビンお姉さま
 これはちよつとハメを
 外しすぎかも...

うん...
 そうね...

スリルのある
 充実したハメ外し
 だったでしょ!

フツッ...今回も上手く
 いきましたね ロビンさん♡

ハイ!

...まあ皆の所に
 戻りましょう

...って服は...
 ハイ!
 もちろん途中で
 晒してあるわよ



イデテ...海水が
 アンコに染みる...

ふふ...度良いわよ
 子宮内の子種が
 消えるわ...

あッ！
 そりゃそうか

★カクガリ弟のかく語りコーナー

さて、今回もブラクティスシリーズと言う事で
やってみたいネタ・実験したい効果などを試してみました。
皆様のオクチに合うトコロ・楽しんで頂けるトコロが
少しでもあれば嬉しいですよ。

「ワンピース」ネタは、以前から読者さんの声もありまして
いっちょ、ヤッてみっかーって感じでやってみました。
ワンピースの持つ、雰囲気「っぽさ」が出るように心がけましたが
いかがでしょうか？

「海軍で遊ぼう」

この作品は漫画ではなく、もっと大雑把に
ストーリーの流れ切り抜いていく感じの連画という方式で制作しています。
イメージとしては、エロビデオのダイジェストムービーみたいな感じでしょうか？
無論、部分的に漫画要素を取り入れてるため(吹き出し・枠線など)
漫画っぽく見えるかもしれませんが

ぶっちゃけ、今回のスケジュールがあまりにもタイトだった為
ネーム制作・1ページあたりの制作に手間のかかる漫画ではなく
この連画という方式で制作してみました。
(それでも手間がかかって、キュキュウだ〜w)
本当は、漫画にしたかったんですけどね〜。ホントに…時間が…グハッ

エロ展開としては、散々エロイことしまくった淫乱オネーサンが
捕まってエロイ陵辱を受けてしまい、最後には
エスケープするってのがミソですよ。
当初は、ロビンオンリーでネタを考えていたのですが
「ナミ・ロビで女医ネタなんてどうだい？」
…と、ふと天の啓示がありまして… はじめの頃は
それはナイよな〜と思っていたのですが
当初、海軍兵(少年)が出ていたのも手伝って
「じゃあ、海軍に女医として潜入〜ッ」って感じで
アレヨアレヨと決まっていきました。

フロントは淫乱女・マゾ男物、後半は淫乱女陵辱ものという
エロ状況に「転」が存在する、ある意味「起承転結」モノが
出来てしまいましたw
オイラ的にはドストライクな展開です…ある種スパイもの
みたいじゃない…。

エロの内容に関しては
ブタ鼻の女性に奉仕してもらってのが
スキスキの実なので満足ですが、皆さんは付いてコレテ？
あとは悪さをした淫乱女陵辱って感じの展開はやっぱ好きだね〜。
いつもと変わらない感じの展開に頭を抱えたりしますが
まあ…好きなよね〜♪

あとは少年ではなく、青年をイジメルのに初チャレンジ
基本路線がマゾ男モノなので、少年だとブレるかなと思ひ
それなら、いっそ色男になって感じて…。
ただ青年を色っぽく・艶っぽく描くのは難しいですね〜。
女性作家の描く青年とは雲泥の差だ…もっとボーイズラブで勉強しないとね(オイ
まあ、基本腐ってますので…w

それよりも、情報を怒涛の津波のごとく詰め込んでしまうのがアレですな。
むしろ連画方式の方が、漫画に比べて情報の詰め込みが多い気がします。
まあ、うるさかったら読み飛ばしてちょ。
オイラ自身エロの山盛り全部乗せが大好きなので、ほんとツイツイ
盛りすぎ全部乗せしちゃいます。(だから、時間かかるんじゃ〜)

結果、皆様が「うわっ下品だねコレッ!!!」とか思って頂けたら
成功しているってことでしょ…。
無論、好みに合う合わないはあると思いますが
まあ、オイチャンはこんな作品でポッキしちゃおうと思って下さい。



←手慣らして描いたロビン
(落書き帳から・ペン画)
思ったよりサクッと描けたので驚きました。



↑ネーム時の青年スケッチ(ネームノートから)
こっちの方が艶があるから、オイチャンがっつきしちゃいます

☆カクガリ兄の各語りコーナー

さて今回のネタ『ワンピース』は、
もちろん馴染みは深いモノの、
自分的にいまいちエロの対象としては
考えたことがなかったモノで、
プロット段階から取っ掛かりを掴むのに
かなり悩みました。

で、結局自分なりに一番好きなキャラ
(エピソード)から膨らましていったんですが……

気に入っていた、娘ラブなアラバスタ国王を攻め手に
したら、王様らしい口調って、「フッ」とか意外と語彙選択
の幅が少なく、受け答えが似ちゃうのがどうにも……
テキストも詰まりすぎなんで、今後はいろいろ考え
ないとなあ、と思いつつ、ビビをニオイフェチにできて
楽しかったです。

でもって、
原稿製作の前に、もろもろ確認のため、改めて
単行本確認したら……

あれ？ アラバスタ編完結ってもう6年以上前なの？
っていうか、現行50巻越えてる原作の、23巻って……
もう昔話レベルやん！

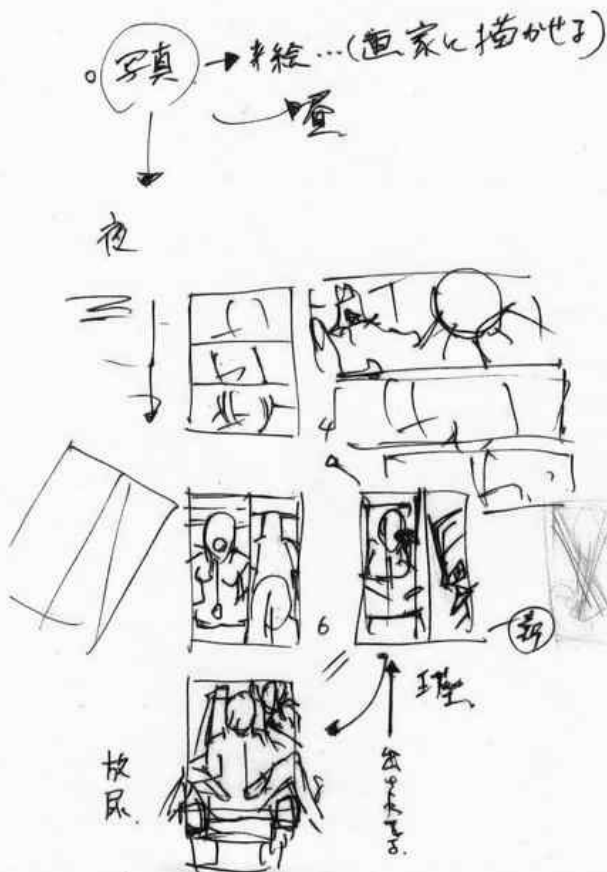
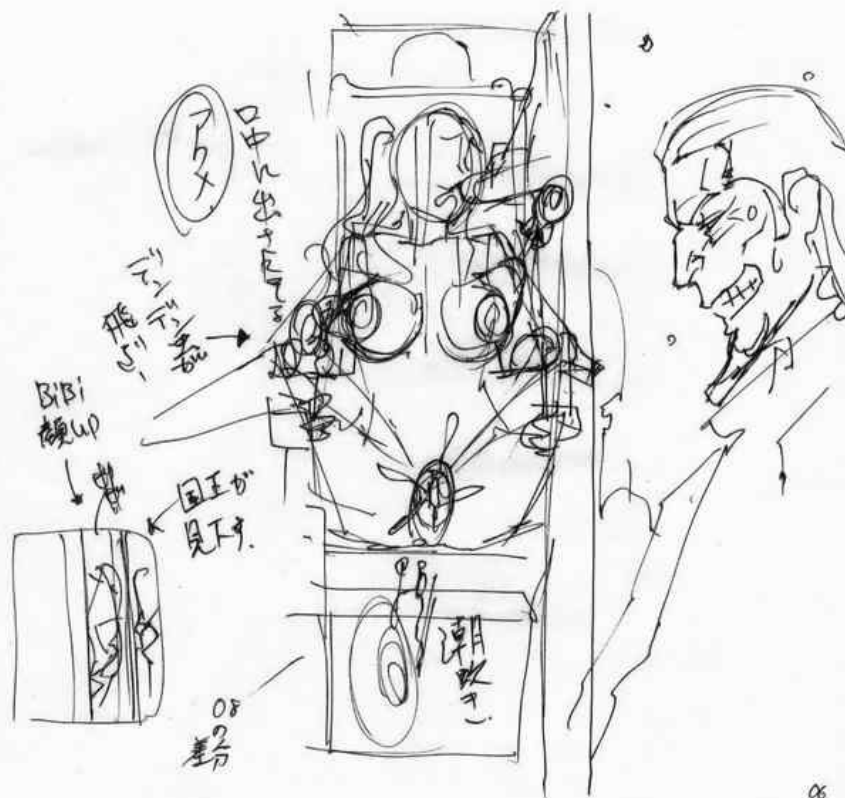
かなりショックでした……
つい最近の出来事かと！！
(いや、そりゃ言い過ぎw)

ま、考えてみりゃ空島もcp9も、
かーなーり長かったもんナア……

でも読み返して、改めて思ったのは
「ワンピ面白れエ！」というのと……
「伏線が長い(上に多いw)」

ピブルカードなんて、すっかり忘れてたよ
アタシやあ……

なんにしる愉快的な(デザイン的にも)
キャラがとにかく、むやみに多いんで、
昔の『キン消し』みたいに低コスト・大量
ラインナップのおもちゃがでないかしら……
出来栄の良い、高額彩色済みフィギュアも
毎回同じようなラインナップじゃつまらんですよ。
と、キン肉マンDVDbox特典のキン消し全セット
(予約済み)に想いを馳せ切望。



『アラバスタ国王バンザーイ！ ビビ王女バンザ〜イ！！』

「皆ありがとう！ 王宮の修復もあと数日で程なく終わる…
しかし皆があつての王宮、皆があつての王国だ！」

『オオ〜ッ！』

「修復完了に併せ、先だって立志式を終えた我が娘、ビビ王女の肖像画も完成する。
この掲揚式をもって、わが新生アラバスタは新たなる歴史を歩み始める！！」

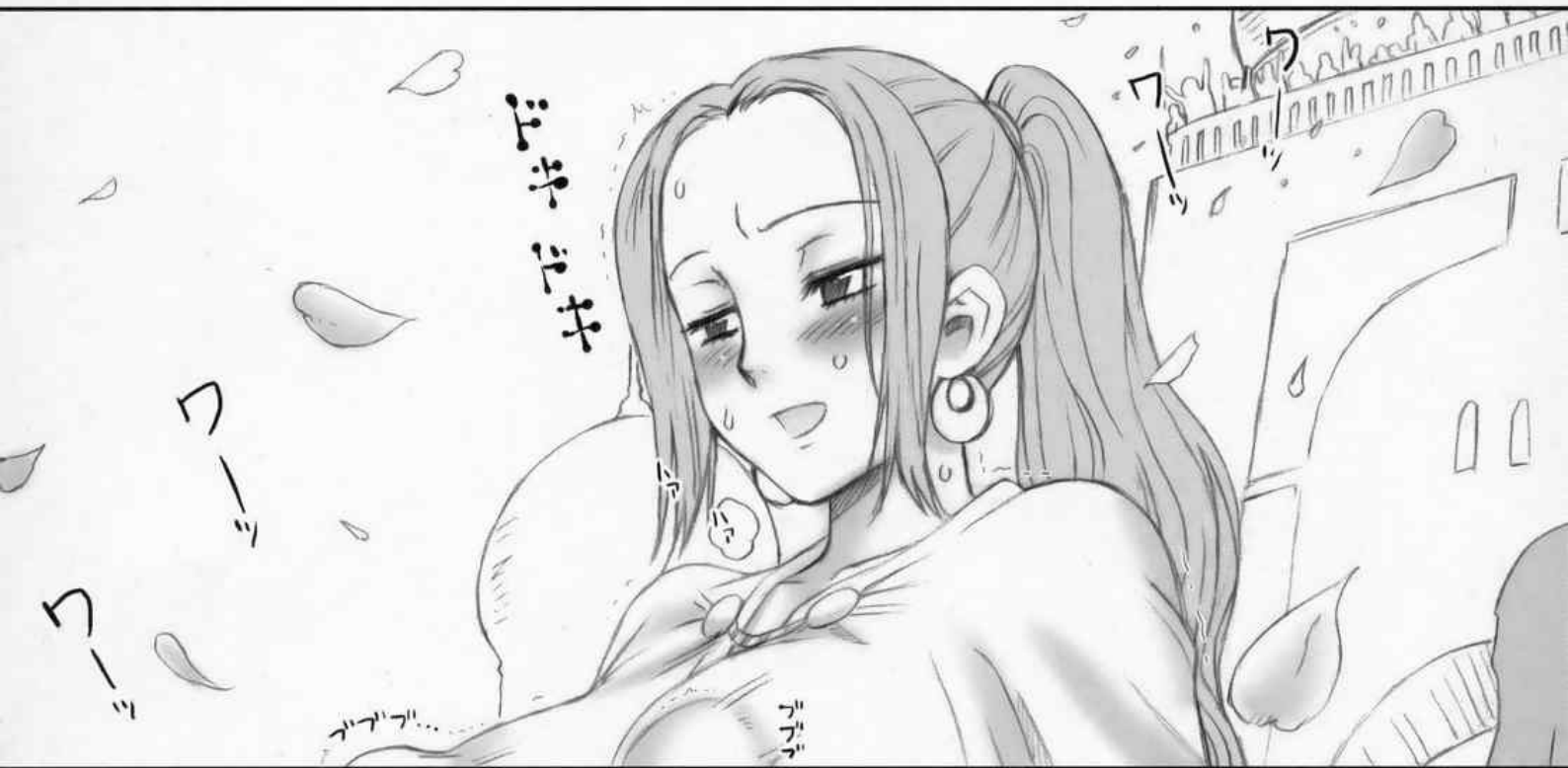
『オオ〜ッ！』

「さ……ビビ、お前からも親愛なる民に挨拶を」

「はっ……ハアハア……はい……」

「どうしたビビ？ 身体が震えているぞ……ふふっ、ホラしっかりしなさい、皆がお前を見ておるぞ」

「みんなが私を……ハアハア……見てるうッ……ハアハア……」



「みっ、みなさんッ……ハアハア……おっ、お元気ですかっ？ ああんッ♪」

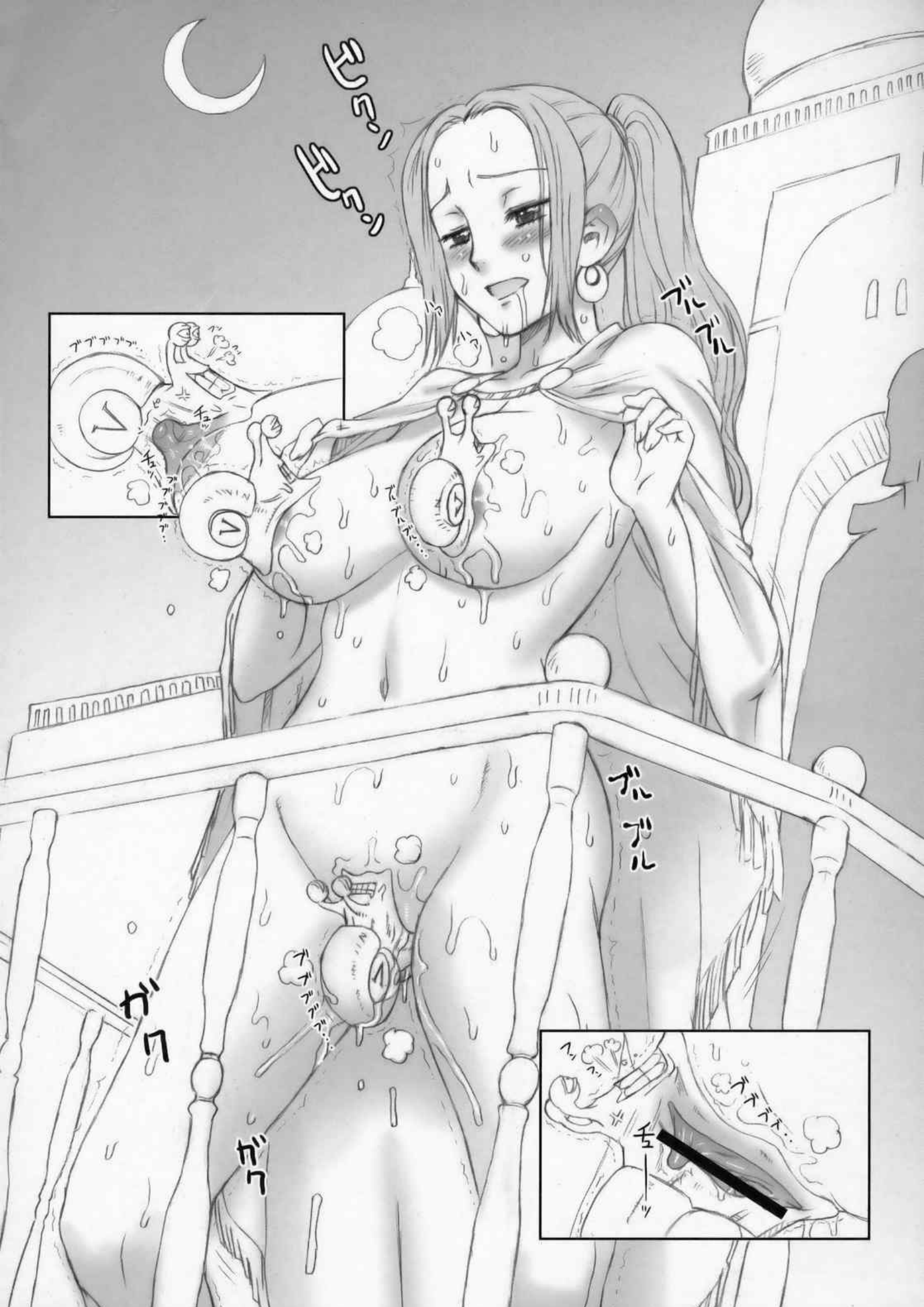
『オオ〜ッ！』

「宮廷画家よ、ビビはまだ何かと忙しい。肖像画の作成は、私の用意した写真を元に頼むぞ」

「ハッ、心得ております。お美しいビビ様を更に魅力的に描く為にも、
最高のお写真をご用意頂けますよう……」

「フフ、わかっておる。可愛い我が娘ビビの……最高の笑顔写真を写真に収めてやろう……」

「み、皆さん……私の肖像画っ……はあはあ……たっ、楽しみにしててくださいねっ…
…あッ♪ ああんッ♪」



ゴゴゴゴ

ブルブル



ブルブル

ゴゴ

ゴゴ



「ビビ、何だ屋間のあの挨拶は……声も身体もあのように震えては、王女の威厳も何もあったものではないぞ」
「あっでもっコレじゃ……」
「ん？ 何だ、王女ともあろうものが言い訳か？」
「んっはあッ……ごっごめんなさい、お父様……」
「ふふふ、仕方の無い子だ。言い付け通りマントの下は屋間のままだろうな？
自らマントの前を開いて…お父様に見せてごらん？」
「あッ、はっはいお父様……ああ……」

「どうだ？ 新世界から取り寄せた《性感バイブレーション電伝虫》の具合は……」
「あッあッはあんツ……」
「あちらでは性処理奴隷の調教に使う様だぞ。いかなる聖女も貴婦人も、一度これを装着すれば、
たちどころに肉欲の虜と化すそうだが……王女であるビビはどうか？」
「あッハアッ……ダメっ……これダメエッ……」
「やれやれ、一国の王女ともあろう者が、はしたない牝の如き鳴声を上げおって」
「あッだってエッ コレすごいッスゴイんだもんツ……はあはあ……あああんツ」
「屋間もずいぶん興奮していた様じゃないか……国民の前で密かにイタズラされて、興奮したんだろう？
快樂にうち震えるお前の、紅潮した顔を、うわずった声を、皆が見聞きしていたぞ？」
「ああッいやあッみんなにッ見られちゃった……私のおッ感じる顔……見られちゃったあ……んツ」
「思い出して、またゾクゾクと興奮してきたのか？ この、真性マゾ王女め……ホラ、手が下がってきているぞ？
しっかりと前を開けろッ！」

「ああアッダメエッだって……恥ずかしっ……いくら真夜中だって……王宮のテラスでこんなカッコ……」
「いい格好じゃないか、マントの下の全裸に……乳房と陰部に、こっけいな性感玩具を着けてw そら、そのまま露出
散歩して、テラスの正面に向かうんだ。式典のために広間から玉座を移してある。そこまでその格好で歩きなさい」
「あッこんなのッはあはあ誰かに見つかったら……イヤあ……」
「イヤか……嫌なら止めるか？ なら虫を取って部屋に帰りなさい。その代わりオマエの飼育も今日限りでおしまいだ」
「あッそんな……」
「ビビ、二度とオマエには触れん、可愛がりもせん」
「あくッはあッはあッ……いやあ」
「何を尻をクネらせておる？ ほら、さっさと部屋へ帰るが良いッ！」
「イヤアッ！ はあはあッ、ゴメンなさいおとうさまあはッはッ……ビビの事ッ……かわいがってエッ！ ビビのカラダッ
いっぱいイタズラして……キモチ良くしてエッ！」

「ふふ…素直で可愛いぞビビ。私のプレゼントはそんなに気持ちいいのか？ 大きな胸をふるふる震わせて…」
「んっ……オッパイ気持ちいいッ……張り付いた虫が、ブルブル振動してッはあはあ先ッぽ……乳首ちゅーちゅー
吸われて……コレすごいのおツ」
「すごいと言われても張り付いた虫で、私にはビビの乳首は見えんからな……ほらビビ、ちゃんと乳首は勃起してる
のか、私にもわかるように口に出して報告しなさい」
「あッはいッ……してますッ、ちくびッポッキしてますッ！ コリコリこりこりッ！ すっごいかたくなって・あッだめっ
そんなに吸っちゃッ乳首ッちくびッ伸びちゃうッ☆」

「ホラ！ 立ち止まらずにしっかり歩きなさいッ！」
「だって……ああんツ」
「そのヨロヨロした歩き方では、下の方も相当良いみたいだな、ん？ 股間の……マンコの具合ははどうなんだ？」
「あッはっ……オマンコはあッ、おまんこ全体に虫がピッタリ張り付いてプルプルして……はあんツ！ きもちイッ！
ピラピラのひだも全部ッ粘膜と粘膜がこすれてッヌルヌルしてッ……きもち良イッ！ あああんツ」
『ぢゅるるぢゅるる～』
「ああんツクリも吸われてッすっごいッ！ 屋間っからクリトリスっイジられっぱなしでッ、頭おかしくなっちゃうッ！」
「ふん、ずいぶんズブ濡れの様だな……こちらまでプ～んとマン汁臭が、メスのニオイがブンブンするぞ」
『クセエ～クセエ～』

「そんな、電伝虫にまでッあッはあッ……いやあんツ」
「あはは……虫にまでマンコのニオイ嗅がれて、バカにされたな」
「いやあ……はあ～っんツ……ねえお父様……ハアハア……お父様のも……嗅がせてエッ……」
「ふふ、仕方のない奴だ……ほらもうすぐ玉座に着く。ゴール出来たら、褒美をくれてやる……ほらしっかり歩けッ！」
「はッはいッ……もうすぐっ……おちんちん……はあはあ……チンチンッおちんちんッはやくウッ！」



「よしビビ、ここまで良くガマンしたな……ほらご褒美だ」
「んチュッ……あっ、クサッ！ イヤだっ……すごいニオイっ……」
「ふふふ、今日のためにここ何日も風呂に入っておらんからな……ヒドいニオイだろう？
嫌なら止めてもいいんだぞ？」
「いやあッ、やめないいい……んっ・プチュッ！ ンッ・ンッ・ムグッ……ちゅちゅちゅちゅちゅちゅ〜ツ☆」
「コラこら、はしたない……少し落ち着きなさい」
「んチュッ……ムグッ……ちゅッ・ちゅッ……」

ちゅぽッ☆

「はあはあ……だあってッ」
「ふふ……そのウツリとした表情……さんざん汚れた、チンカスだらけのイチモツに、可愛い
カオでほお擦りしおって」
「だってエッ、最近ちっとも……私のカラダっ・イジってくれなかったからあッ……
このオチンチンっ・くれなかったからあッ……」
「仕方無いだろう、王たるもの色々忙しいのだ……お前だけにかまってる暇など……」
「ウソつきッ！ ……はあはあ……じらしてたクセにいッ……イタズラして欲しいの……
分かっててッ、ワザとしてくれなかった癖にい！」
「フン、だから父親の汚れた下着を盗み出して……夜な夜なひとり遊びにふけていた
という訳か？」
「え？ なんで……」
「ベット下に仕込んだ電伝虫から全て聞こえていたぞ……毎夜はしたない声で、吐息混じりに
私の事を呼ぶのがなw 父親のシミ付き下着を咥えながら……それをネタに自慰にふけるとは、
本当に救い様の無い……スケベな娘だなw」
「んッ……そうしたの……私の事ッ、スケベにしたのお父様のクセにい……そうですっ……
ビビはあ・お父様のツ・パンツのシミにしゃぶり付きながら……それをオカズにオナニー
してましたあッ……はあはあ……ビビはッ・オチンチンが大好きなあッ・はしたないッ、スケベな娘
ですうっ……」

はぶっ☆

「うおおッ、いつにも増してッ、スゴい吸い付きじゃないかッ」
「んッ・ふっ・クサッ・んぶッ……お父様のツ……ズルッ・ちゅッ・汚ちんぽッ・すごいッ・くさいッ♪
んッ・じゅちゅ〜ッ」
「ほらッ、こっちを見なさい！ 汚れたチンポ美味そうにほおぼる顔を、よ〜く見せるんだッ！」
「んもうッw お父様のえっちいッ……ふぁいッ……ズच्चゅ・ズズ〜ッ……見てッ……
んぐッ・んちゅッ・ビビのえっちなあッ……んちゅッ・んぶッ……チンチンしゃぶるお顔みてえ♪」
「ははッ・どうだ？ チンポうまいかッ？」
「おいひいッ♪……んぽッ・んちゅッ……しょっぱいオチンポッ……んぐッ……クッさいオチンポッ
おいひいッ♪」
「クッ・夢中でしゃぶり付きおって……そんなにコレが欲しかったのか？」
「んッ・んんッ・欲しかったですう・くっさいオチンチンがあッ・欲しかったのおツ☆」
「フッ、キツいニオイの、汚れたチンポが大好きとは……ビビは本当に、とんだ変態女王だなw」
「んんッ・クサいのすきいっ・しょっぱいオチンチンっ・だあいすきいッ♪
くっさいチンポッ・嗅いでるだけでゾクゾクするう・アタマの奥とッ……はあはあ……
オマンコの奥がしびれちゃうのおツ♪ んぽッ、ズッチュ・むっちゅ……ずずずずッ！ ズう〜〜ッ！！」



「ふん、その様子じゃアルフィ君達と旅している時も……そのスケベなカラダを持って余して、若い男達のモノを
啜えまくっていたんだろッ！」
「んッ・そんな事ないッ・お父様以外となんてツしてないッ・んっちゅ・ズズッ・ビビが好きなのはあッ・このチンポだけッ
お父様のチンポだけなのおッ！」
「ん？ コレか？ このチンポかッ？」
「んぶッ・そうコレエッ・ちゅッ・ズズッ・このチンポおッ！」
「ふふッ……夢中で父親の汚れたチンポに吸い付きおって……そのウツリとした表情、皆が見たら何と言うか……」
「だめエッ！ はあはあ・ビビの恥ずかしい所も・イヤらしい姿も……見ていいのはお父様だけなのおッ！」

「ん？ どうしたビビ？ さっきよりも随分カラダが震えてきた様だが……」
「んんッ・イッ・イキそッ……」
「何？」
「もうッ・ビビのおマンコッ・はあはあ……イキっそうですッ！」
「どうした？ 屋間からずっと我慢できていたのに……こんな改造電伝虫どもにイカされてしまうのか？
ダメだ、ゆるさん」
「だって、だってエッ……興奮しちゃったから……お父様のオツ・くっさいオチンポお……ムチュッ・ズズ〜ッ……
おしゃぶりしてッ・コーンしちゃったからあッ！ おおんグッ！」
「ならチンポを口から離せば良いだろう……ホラおしゃぶりをやめなさい」
「ああんっ・んっぐッ……イヤあッ……」
「わたしのチンポが悪いのだから？ ホラ、早くッ！」
「あッ・はッ・ウソですッ……お父様のせいじゃないですッ……ごめんなさいッ・ビビが勝手にい……コーンしたからッ
……お父様のツ・クッさいチンポかってにオマンコ感じちゃったからッ……ビビが悪いのおッ」
「そんなにキモチいいのか？ 愛玩用の虫でイタズラされながら臭い汚れチンポ掃除するのが……
なんだ？ このままイキたいのか？」
「ああッ……このままイキですッ……お父様のツ・くっさいザーメン口に出されてッ……
クさいの飲みながらッ・電伝虫にイジられてイっちゃいたいのお……このままイキたいですッ！」
「なんだ、私の可愛いビビは虫ごときにイカされてしまうのか？ ビビの身体をイカせていいのは私だけのハズだろう？
それを虫けらなんぞにいいようにイジられて……私でなく虫にイカされたいのかビビッ？」
「あッ・はッ・だって……はあはあ……ごっ・ごめんなさいッ……じゃあイクのやめますッ……虫も取りますッ」
「……どうした？ 汚チンポ啜えながらヒワイな虫にイカされたかったんじゃないのか？」
「はいッ……でもおッ……お父様がイヤな気持ちになるんなら……はあはあ……イかなくていいですッ……
ビビはあ・お父様のモノだからッ……はあはあ……お父様がイヤなら……イかなくていいからあッ……
んッ・んッ・ああんッ！」

「ふふッ……カワイイ子だ……いいだろう、今日は特別に許してやる……ほら、イケッ！ オモチャみたいな虫けらに
なぶられて……イカされてしまえッ！」
「あッ・はッ・ングッ・ありがとうございますッ・あッ・はッ・お父様もッ・お父様も一緒にイってエッ！
ンッ・ングッ・ジュルッ・ズッ・ズズ〜ッ」
「くッ・いーぞホラ、カワイイおクチにチンポ汁全部出してやるッ！ ホラ鳴けッ・スケベでカワイイアクメ声……
もっとスゴい声でイケッ！」
「あッ！はッ！ああんッ！くっさいお父様のおッ・おクチ・もっどッ・もっど汚してエト
ビビのヤらしい声聞いてッ！ 恥ずかしい顔ッ！ イクとこ見てエッ！」
「よしッ！ 出るぞッ！ ビビの大好きなッ・くっさいザーメン出すぞオラッ！ うッ！ 飲めよッ・全部飲めッ！ くッ！ うッ！
ンッ！！」

「んぐッ！！ キタッ・お父様のツ・くっさくて濃いのおッ……ウブッ！ あッ・すごッ……のど、ひっかかってッ……
飲きれないッ……グッ・ンブッ……ああッ……くっさあッ！ おクチのなかッ・くっさいチンポ液で犯されてるうッ！」
「くッ……オラッ・イケッ！ ビビもイケッ！ 見てやるからイケエッ！！」
「うんぐッ・イクッ……オマンコいくッ！ お父様に見られながらイっちゃうらッ☆
見てみてッ！ イクとこちゃんと見てエッ！ ビビがイクとこ見てエッ……あッ！！」

ブッ！ ピッ！ ピッ！ プシャアアッ！

「はッ！ あッ！ オマンコ汁噴いちゃうッ！ マン汁ふいて……イっちゃうッ！
ああ〜〜ッ！！」



「はあはあ……いつ・ちゃつ・たあツ……」
「フフ……ずいぶんな声をあげてイッたな」
「はいっ……私初めて……お父様以外にイジられて……電伝虫なんかに良い様にされて……
はあはあ……イカされちゃった……」
「ずいぶん盛大にシオを吹いて……今まで聞いた事無い声を上げておったぞ」
「はあはあ……だってッ・お父様のナマのおちんちんのニオイ……久しぶりだったからあ♪」

「フフッ、子供だとばかり思っていたビビが……ココロもカラダもすっかり大人のオンナに成長していた様だね……どれ父さんに、成長したビビのオマンコを見せてごらん？」
「あっ、はっ、はい……」
「どうした？ 今までしていた様にビビの大切な女の部分……オマンコを開いて、ちゃんと見せなさい」
「あっでも……恥ずかしいっ……」
「何故だね？ 幼い頃からずっと見せてくれていただろう……言うことが聞けないのか？ん？ どうしたブルブルと震えて……」
「ちがっ、あの……お・おトイレ……」
「フフ……なんだ、もよおしたのかw フフ……昔からイッた後、すぐトイレに行きたくなるクセは変わらんなあw」
「あっ……うん、だからあの……」
「いいぞ、今日はそのイスに座って……このテラスから下に向かって小便するのがいい」
「下につて！？ 神聖なる王宮から大切な国土に、皆が集まる広場に向かって……ですか！？」
「そうだよ……なに、コレは神聖なる我が国の儀式なんだよ……砂漠の国であるこのアラバスタに、恵みの雨がもたらされるように……これはお前の母さんも、歴代の女性王族は皆、やっていた事なんだぞ」
「お母様も……」
「ホラ、分かったらさっさと……早くしなさい！」
「あッ・はッ……はい……」

「そら、まずは自分でアソコを開いて……」
「はい……あッ・はッ・はあ〜ッ」
「ふふ、いつも通り……ツルツルとカワイイ、パイパンおまんこじゃないかw」
「あッ、はい……お父様がッ・毛が生えてない方が好きだって言うからッ・はあはあ……毎日キレイにしてるんです……」
「ん？ 旅の間もずっと剃っていたのか？」
「はあはあ……はいッ……ずっと剃ってましたッ……だってッ・ビビはッ・お父様のモノだから……」
「フッ……相変わらずピンク色で……生娘のようにキレイなマンコじゃないか」
「あッ・はッ・ホントですか？ はあはあ……うれしい……」
「ん？ どうした？ 早くしなさい」
「じっと見られてると……き、緊張して……あッ・お父様ッ・顔が近いッ……鼻息当たってエッ……あはっwくすぐったいッ……あんッ♪ はッ……あッ！ 出るッ！ お父様ッ・オシッコ出ますッ！
ビビのオシッコッ・見てくださいッ！」
ショッ……
「あッ！」
ショッ！ ショッ！ ジョオオオおおお〜〜ッ！！
「はああああ〜〜ッ！！」

「ん〜w いっぱい出しおって……そこらじゅう小便臭くて、たまらんなあw 大事な玉座が小便まみれだぞ」
「はあはあ……はい……ごめんなさあい……はあはあ・お父様あ……あのッ……ハアハア」
「ん？ どうした？」
「あッ・じっと見られてたら……おまんこ……ムズムズしてきちゃって……それにまだッ、この奥に……女の子の大事なトコロに……オチンチン、まだもらってないですッ！」
「なんだ、もう欲しいのか？ 先ほどイッたばかりだというのに……」
「はっ、はいお父様ッ、ビビのオマンコに入れてください……スケベなオマンコッ・大好きなチンチンでいっぱいかき回してエッ！ お願いいっ、お願いしますッ！」

「仕方無い子だなw 良いだろう……ほら私の上にまたがって……自分で導き入れなさい」
「あっ、はい……あッ・はッ・おちんちん入っちゃう……ビビのオマンコにいッ・お父様の汚チンポ入っちゃう……
ああああ……あんっ♪」



「あッ・はッ・いいッ! やっぱコレ良いッ! お父様のチンポッ・太くて・ゴリゴリして……やっぱりッ・コレ好きいいッ!」
「今日はたくさんガマンしたご褒美に、ビビの好きに動いて良いからな……自分の気持ち良い様に、たっぷり腰を振るがいい……」

「あッ・はんッ・コレ良いッ! ありがとうございますッ! でもッ・ビビもッ・大好きなお父様にッ・キモチよくなって欲しいから……お父様のオチンポ、ビビのオマンコで……身体中使ってッ・シゴいてあげるッ☆ あはんッ!」

「ふむ、今日はまた一段と激しく……スケベな声で鳴くのおw」

「あッ・いやだッ……誰かに見られたらッ・聞かれたらッ・どうしよッ……」

「ん? なんだ? 急にオマンコ閉まったぞ? フフ……ほらどうだ? 我が国の、神聖なる王座の上でッ・王の腰の上にまたがって見る景色は?」

「あッ・ああんッ! サイコーッ! 最高ですッ! お父様の王様チンポッさいこーですッ! あはッ・あんッ・はあんッ・お父様はビビのオマンコッ・気持ち良いですかあッ?」

「ああッいいぞッ! ワシのチンポしか入っていない……ワシ専用マンコだけあってッ・相変わらず気持ちいいぞッ!」

「あはッ☆ うれしッ……」

「そのイヤらしいアへ顔と、屋間の清楚な笑顔との……ギャップもッ・最高だッ!」

「あッ・はッ・昼は清楚に上品にッ……夜は下品に淫乱にッ……これからもッ、もっとお父様に喜んでいただけるようにイッ・がッ・頑張りますッ! あッ・ひいんッ!」

「フフ、家臣も臣民も、皆オマエは何も知らない、処女だと思ひこんでおるぞ……」

「あッ! はッ! あはッ! そう……ですか? あッ! はあんッ!」

「そうとも、美しく成長したお前の帰りを知って、新聞に載ったオマエの写真を見て……他の国の貴族からもッ・求婚の申し込みが殺到しているぞッ?」

「あはッ・それではもっと皆様にッ・好かれるようにがんばりますッ!」

「ふんッ……やはり若い男も欲しくなったか?」

「イヤあッ! 違いますッ! 私がッ……他の人にモテればモテる分だけ……それを独占しているって……」

お父様は喜ぶでしょ? もっと……ビビの事ッ・可愛がってッ・愛してくれるでしょ? あッ・ああんッ! だからあ……」

「ふふ……カワイイことをッ! よしいぞ、愛してやる。だからもっとッ……イヤらしく腰を振れッ! もっとスケベな声をあげろッ!」

「あッ・はいッ・わかりましたあッ! あッ! はんッ! はああああんッ!」

「良いかッ? これからも皆の前ではオトコのッ・オスのチンポのニオイを感じさせてはならんぞッ!

それがこの国の……シンボルでありアイドルであるオマエの役目だからなッ!」

「はいッ! わかりましたあッ! ビビにとってはお父様だけがオトコッ・一生このオチンポだけしかいりませんッ!

だからあ……今のうちにッ・いっぱいいっぱいッ・イヤらしいコトしてッ! ビビをスケベにしてくださいいッ!」

「ふふ、今日は写真機電伝虫もセットしてある。

ビビのだらしくイク姿……イヤらしい所、一生記録に残してやるからなッ!」

「あッ・はいッ・わかってますッ! 全部撮ってくださいッ! ビビのはしたない姿ッ・イヤらしくイクとこッ……」

全部撮ってえッ!」

「よしッ! イクぞッ! ビビの子宮にッ! たっぷり出すぞッ!」

「出してッ! あんッ! ビビのオマンコたっぷり犯してッ! オナカにびゅびゅつとお・熱い出してえッ!」

「くッ! ほらビビッ、カメラ虫見ろッ! 中出しされるアクメ顔ッ! 国中のッ・世界中のみんなに見てもらえッ!!」

「あッ・はいッ! 見てえ……あッ! あッ! ビビのイクとこッ! チンポにッ・オマンコめちゃくちゃかき回されてッ……」

中出しされてッ! イクとこ見てえッ!!」

「あッ・くッ・イクぞッ! ビビのマンコにッ・クさいの出すぞッ!!」

「あッ! はんッ! 私もッ! 私もイクらッ!」

「ほら、カメラ見ろッ! 気持ちいいんだろ? 笑えッ! ピースして……ホラッ!」

「あッ! はッ! はいッ! キモチいいッ! チンチン気持ちいいッ! あッ! ああッ!」

「あッ! くッ! 出るッ! ンッ…… うッ! うッ! おうッ!!」

「あッ! キタッ! 熱いッ! きたあ〜ッ! あッ! はッ! イクッ! 私もおッ! おまんこいつちやうらッ!」

あッ! あッ! ああああア——ッ!!」

「いや、それにしても素敵なお顔ですなあ〜」

「まことに見事な肖像画……ビビ様、本当にいい笑顔をしてらっしゃる」

「ええ、はにかんだ、明るく愉しげな……それでいてどこか恥らう様な……」

「清楚な少女のなかに大人の色香をあわせ持った、本当に魅力的なお顔で……」

「これでビビ様のお美しさは、ますます世の噂になるでしょうなあ」

「もともとは王が撮られた写真の表情なのだとか聞きましたが？」

「ほう！ さてどうしたらこんなに良い表情が撮れるのやら……」



「うむ、なかなか良い絵が描けた様だな」

「ははっ、恐縮です……これと言うのも頂いたお写真のお陰。まことに素晴らしいお写真でした……お顔のアップ一枚しか無かったのが残念な位でございます」

「いや……全身はこの子がイヤがったものでね……なあビビ？」

「はっ、はい、済みません……」

「いえいえ謝って頂くなんてとんでもない！ しかしせめてお顔だけでも……」

「もっとビビ様の絵を描かせて頂きたいものです……おっと失礼、これは画家としての欲が出てしまいましたな」

「いや、いくらでも新しい写真は用意してやろう……なあ、良いだろうビビ？」

「え……はっ、はい、もちろん……これからも……ハアハア……ビビの写真ッ、もっと撮って下さい……ね、お父様♪」

弟、日々の落書き帳

今回、ワンピースを描くにあたり、手を慣らすために書いた落書きなどを掲載～♪
といっても、ロビンばかりですがw
穴埋めっちゃ、穴埋めですが制作背景を楽しんでいただければと…。



*落書き帳に描く時は主に水性ペンを使用します。
ステッドラーのピグメントライナー0.3が描き心地よくてお気に入りです。

まずは、なんと言っても今回の制作にあたり、不安であったのが
ロビンの顔が描けるかどうかです。
なんというか、鼻筋がゴリッと描いてあるっしょ。
ちょっとドキドキだったのよ、マジで…。
あと、鼻フック出来るのかな～？ とか色々妄想しましたがw
手慣らして描いて見ると案外、悪くないじゃない。
本編でも、ロビンよりナミの方が苦戦、何か似ね～w
髪型か？髪型なのか？…たぶんソコだよな～。

上記は、ユーチューブでワンピースを見ながら、チョコチョコ楽描いたものです。
いい感じの表情が何個か描けていますね…自画自賛かw

★お下品落書き～

アニメ見ながら何か描いてるんだかw、サクサクと改造ボディを描いちゃってますね…何も考えないとコンナの描いちゃいマス♪テキストはフィーリングで… (掲載にあたり、若干の修正と加筆)

どう？ ボウヤ…姉さんのこの下品ボディは…フツッ素敵でしょ…ほらッ好きにイジメて良いのよ♥

アアン…んな格好で野外露出されちゃうのね考えただけで乳首がピンピンに勃起しちゃっわ♥



アッッ 見て見てアッッ お姉さんのト変態ボディ♥ 体のエッチな部分を改造されているのよ ホラッ腋毛も陰毛を移植されてこんなニポーニポーになって…しかも体臭も強化されているからすっごくエロクッサイ 腋臭噴き出ちゃうのよ♥ 腋汗も下ロ下ロと垂れてきちゃうエロ腋な♥

フツッ…乳首だって乳輪からコンナに肥大勃起しちゃってミルクがビュービュー噴出するが止まらないのよッ♥ アアン…駄目ッミルクが溜まってオッパイがはちきれそうよ

アアッアアン典お願いだからお姉さんの乳首思いつきり踏ん付けて搾っちゃったい♥ もしかすると搾られてる最中に何度もオマンコからお汁噴いちゃうかもしれないけど…気にしないでね♥

★悪魔の実の力
 ハナハナの実の能力者であるロビン。
 その能力は身体の一部を好きな個所に
 映かせる能力であるらしい。
 …と言う事は以下のような事も出切るのでは？

ふんっこの沢山あるオッパイから
 毎日100リットルのお乳が出るのよっ
 ホラッどのオッパイも搾っても良いのよ
 もちろん全部搾っちゃってもイイのよお

ああ、これ以上の
 市中引き回しは許して
 下さい…主人様…

クククッ 何言ってるやがるし
 王宮の家畜舎まで行く
 約束だろうがこのメス豚がッ



★悪魔の実の力はココまでッ!!
 ハナハナの実のパワーで
 腋毛を増やしたロビンさん
 さらに汗腺・アポクリン線も増やし
 まるで腋から射精するように腋汗を
 噴出してしまふ、超下品腋の下に
 大改造~♥

その腋の下から噴出す
 超絶エロ腋臭フェロモンに
 男共は引き寄せられ、マニアで
 あれば至近距離で射精してしまう。

ナミコレを商売に利用され
 腋臭豚アイドルとして裏デビュー

- 腋毛(腋臭付き) 1千ペリー
- 腋フェロモン吸引 5千ペリー
- 腋舐め 1万ペリー
- 腋汗(100ml) 3万ペリー
- 腋プレス 5万ペリー
- 腋コキ 10万ペリー
- 腋臭付き腋汗パッド 3万ペリー
- 腋射(オプションとして) 1万ペリー
- 出張腋臭ダンスショー 50万ペリー
(各種オプション付き)

などなど

ハア…みなさん♥
 今日は腋臭豚アイドル・ロビンの
 腋臭ダンスショーにようこそ♥
 ロビンのエロ腋臭フェロモンを
 心行くまでたっぷり堪能して
 行って下さいね♥

アアッ♥♥♥
 皆様に見られてるだけで
 腋汗と腋臭がとんとん
 噴いてきちゃいますわ♥



オホオオオオッ
イクッイクッイクウツ♡
射乳アクメしちゃウツ♡
みんな見ててッ、ロビンが
射乳してイッちゃウツ♡ロビンが
オオオオオオオオオッ
イグウウウウウツ♡♡♡

★ダブル大噴射
ゲス女、ロビンさんは自分の性欲を
満足させる為なら、部屋でも野外でも
どこでも大噴射姿を披露しちゃうぞッ

オオッ 駄目よッスゴイッ！
ウンコ止まらないのッ
コンナニッ出てるけど
まだ5分の1も出てないのよッ
あぁッ 見て大量脱糞する上ッ
脱糞してイッちゃウツ♡♡♡見てえ
ンホオオオオオオッ♡♡♡
ウンコオ——ッ♡♡♡

一大腸を長くし改造され
超大量脱糞出切るように…

★さてさてこんな落書ですが楽しんで頂けたら嬉しいです
どうですかね、こんな方向性も個人的には好きですよ！
まあ、なかなか掲載したり発表したりするチャンスがないのですがね。
こういう感じの落書が溜まったら、またなんか発表出切れればイネ～。

★★あとかき★★

☆カクガリ兄☆

さて2008年も終わろうとしています。
ま、世間的にも自分的にも、年末という
「ホント今年は早かったわ～」ってのが
恒例のお約束ワードですが
(類似に「今年の風邪はしつこいわ～」等)
個人的には、体調崩して長期入院したり
色々悩みすぎて、ポキッとココロが折れてみたり
etc, etc……
と、イベント色々、思い出様々で
早かったようで、久々に永く感じた一年でした。
(いや、悪い事しかなかった訳じゃないんですがw)
まあ、ピンチの時こそ、周囲の友達のありがたさが
分かる訳で。
得た物も大きく、勉強になった年でした。

あとはこの本が、無事に出てくれれば
今年と言う事ナシ、ですよ。

んでは、また来年・皆様良いお年を～♪

(平成仮面ライダー10周年が、予想以上に
『祭り』になりそうで楽しみデス☆)

☆カクガリ弟☆

さて、今回も修羅場ですたよ♪

今回の制作にあたっては、ワンピースに詳しい…
もとい、ワンピースのエロネタ描かせたら右に
出る者無しのもとうさんから
(いつも股間が、お世話になっておりマッスル)
ニコ・ロビンの魅力に関してご教授して頂きました。
ええ、エロイご教授頂きましたよ～。
ホントありがとうございます。

今後の展開としては
2008年はコミケ以外のイベントなどに
参加する事が少なかったので
出切るなら、色々と参加したいと思います。
当面は、「にくけつ」と「ふたけつ」ですかね～。
申し込み期限が過ぎてなければですが…。
(入稿後、確認して参ります)

ネタの方向としては、もちよつとワンシチュに
偏ったものを、デブとか筋肉とかウンコとか
鼻とか腋とかに特化した感じの～。

ちよつと、突き詰めてみたい感じがする今日この頃です。

ワンピースはまた、やってみたいね。
あと、チュンリの続編とか…少年とか…

ではでは、ご購入いただいた皆様ありがとう御座いました。
少なからず、皆様の股間を暖められたら本望でゴザイマス。

来年もよろしくお願ひしマッスル。



Niku Ringo (Beef&Apple)

☆Staff☆
カクガリ兄
カクガリ弟
(合わせて カクガリ兄弟)

☆Presented by☆
肉りんご (Beef&Apple)

☆Title☆
NIPPON PRACTICE2

☆同人誌印刷☆
PICO様
(いつも大変お世話になっております…今回は特に…)

☆奥付☆
(ご意見ご感想・要望・お仕事などは下記にお願いします)

☆ホームページアドレス(ブログ)☆
<http://kgbros.blog37.fc2.com/>

☆メールアドレス☆
kgbrosbros@yahoo.co.jp

☆注意☆
本誌に記載する全ての図版・文章を、許可なく
複製・転載・ネットで公開及びアップロードする事を禁じます

NIPPON PRACTICE 2



Presented by
NikuRingo(Beef&Apple)

2008/12/30 In
Winter of Comiket

For ADULT only